

基山町

議会だより

平成28年 第1回定例会

3月議会

No.57

きやま 検索



2、3ページ

【特集】地方創生って

私たちのまちは

なにをやっているの？
これからどうなるの？

(表紙)

高速基山パーキングエリア上り線内に
設置された「基山ふるさと名物市場」

平成28年4月30日発行

私たちのまちは

なにをやっているの？
これからどうなるの？

「地方創生」「地域活性化」「定住人口対策」「地域おこし」「消滅可能性都市」「地域雇用促進」…。最近、テレビや新聞、ネット等でそういった言葉を毎日のように取り上げていますが、私たちの基山町は「いまどうなってるの？」「これからどうなるの？」という疑問や不安が沢山あると思います。どのような取組を行っているのでしょうか。私たちにも係わる大切な取組です。昨年からのこれまで、これからの取組を見てみましょう。

地方創生先行型
(平成27年度)

合計 3542万円

①基山町総合戦略策定事業

子育て支援や雇用創出による人口減対策、2040年までの人口ビジョンの策定

②未利用スペース戦略的調査

町有地など活用されていない土地の有効利用の検討



③基山PAふるさと応援市場事業

さが段階チャレンジ交付金
(平成27年度)

合計 2112万円



④特別史跡「基肆城跡」を活かした地域活性化事業

基肆城築造1350年を契機として住民参加型のイベントなどの開催・文化継承



⑤オリジナル発酵食品群による地域活性化事業

基山オリジナル微生物を利用した発酵食品の開発により基山の名産品を新たに作り出す



③六次産業化による耕作放棄地対策

エミュ飼育による耕作放棄地対策と食肉等を用いた商品開発



①基山フューチャーセンター事業

JR基山駅前のアンテナショップを活用した「ひと・もの・しごと」の発信



②竹を資源とした地域おこし事業

森林保全を目的とした伐採竹の利用実験・活用推進

地域消費喚起・生活支援型
(平成27年度)

合計 2511万円

① 基肄城築造1350年記念プレミアム商品券発行事業



② ふるさと応援通販プロジェクト事業

③ 基山町KAPPO事業



④ 基肄城築造1350年記念麺フェスタ事業



④ 宅配・基山ネット
ワーク事業

⑤ 六次産業化推進プ
ロジェクト事業



⑥ SGK人材(戦略的シルバー)を
活用した地域活性化事業

⑦ 地域ぐるみの子育て応援プロ
ジェクト

子育て支援などに関する調査・子育てサ
ポートセンターの設置等

⑧ 定住の地域づくり事業

中心市街地活性化基本計画等の策定に関
する基礎的調査等

加速化交付金
(平成28年度)

合計 4154万円

魅力ある空間形成プロジェクト事業

- ・創業支援のためのローカルシェアリングセンターの設置
- ・モール商店街の植栽撤去
- ・次世代型電動車いすを利活用した社会実験など

地方創生事業は「地域産業の活性化による雇用創出」や「子育て支援」、「住民交流による地域活性化」、「住環境の再整備」などを通して、住みよいまちづくりを目指すことで「まち・ひと・しごと」を確保し、定住人口を増やすことよって安定的な税収を確保することを目標としています。

健全な町の財務体質の基本として、税収を高めていかなければ社会保障の基盤を強めていくことはできませんし、充実した住民サービスも受けられません。

今回の地方創生先行型・加速化交付金は単発的なものです。これらの事業が一過性で終わることなく、継続的に基山町の魅力や独自性を高めつつ行っていくかなければ意味がありません。

また、交付金も私たちの税金です。

様々な取組が活きた事業になるように注視していく必要があります。

平成28年度 施政運営方針

平成28年度基山町施政運営方針について、松田町長が発言した内容を抜粋しました。

国

の経済動向は、緩やかな回復基調が続いているが、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

町

長の改選期にあたっていたため、当初予算は骨格予算とし、行政運営の基本的な経費や継続事業を中心として編成を行っている。今後、骨格予算への肉付けのための補正予算に取り組んでいく。

本

年度から、第5次総合計画に掲げた基本理念に向け実施計画を開始する。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であげた子育て支援、コミュニティバスや公民館利用、図書館の活用など、各区との意見交換をする際にテーマにして町民の方の声を聞く予定にしている。
また、定住促進、子育て支援は、国の予算配分なども使えるものは使っていきたいと考えている。

施政運営方針に対する主な質疑

減 少する町税

問 固定資産税は高齢者に関係なく入る税だが、今後税のバランスは考えているのか。

答 第5次総合計画の人口推移ベースを参考にしていく。今後の影響は、相続税が大きな問題になると考えており、支払いのために手放すのではと心配している。

増 える寄附金

問 ふるさと応援寄附金の増により、昨年度より5000万円増の6000万円円で計上しているが、どのくらいを妥当と考えているのか。

答 1億円か2億円あれば、5000万円から1億円くらいが使える金額なので、継続的な経費に使うのではなく、単発的な事業に適した金額と考える。

進 む 少子高齢化

問 民生委員、児童委員は増やせないか。

答

地元の要望もあり、平成28年度に一人増の申請はしている。

交 通政策事業

問 バス利用が買い物や病院に行くことに集中しているが、観光などに利用しないのか。また利用者増のための考えはあるか。

答 利用に関しては、公共交通の一環であるという考えでスタートしている。利用者増に向けては、当面1日80人を目標にPRを進めていく。

住 民票等のコンビニ交付事業

問 利用するメリットは。

答 基山町では、町外へ仕事に出ている人が多いので、電子証明書を付けた個人番号カードの交付を受ければ、全国どここのコンビニでも住民票等の交付を受けることができる。



▲庁舎前に停車中のコミュニティバス

中学校大規模改修はエアコンをまず設置

平成28年度当初予算審査 予算特別委員会

施政運営方針・議案・各種資料に基づき、4日間にわたり審査を行った。

新町長の所感

問 今年度の当初予算は町長選挙があり、骨格予算として編成しているとの事だが新町長の所感は。

答 中学校大規模改修工事の補助率が悪いと感じたので、6月補正で補助金が出ないエアコンを先に設置する方向で考えている。



▲大規模改修予定の基山中学校

コミュニティバスは

問 コミュニティバス運営の利便性、規模を維持していくためには、国の補助も減っていくので、利用者増を図るべきでは。

答 平成28年度の利用者数は1日80人としている。利用料だけでは賄えないので、町としての支援策を多方面から検討していく。

基山町の農業

問 集落営農組織の農地集積と法人化の進め方はどの様にしていくのか。

答 2段階での法人化など、基山町の実態にあった農業の研究もしていく。

不妊治療費の実情

問 不妊治療助成費の昨年度実績、受給要件事項は。

答 平成27年度は17件助成している。戸籍法に基づく婚姻届を出した夫婦が原則。夫婦の所得合計額は730万円未満、町税を滞納していないことも要件となる。

補助金の見直し

問 補助金全体の見直しはできないか。

答 現状は各担当課で査定し予算計上している。内容等については庁内に検討委員会を設置して、補助金全体を検討していく。

国民健康保険の見直し

問 国民健康保険特別会計の今後の見直しは。

答 現在の試算では、保険給付費の伸びが毎年5%として、財政運営の県単位化を迎える平成29年度末の基金と繰越額で総額1億3000万円程度残るのではないかと。

下水道事業

問 全体計画の見直しのプロセスは、基山町が主体的に見直すのか、福岡県の見直しを待って計画を進めていくのか。

答 全体計画の基礎数値を町でつくって福岡県と流域構成市町で協議するが、最終的には福岡県の汚水処理構想に含まれるので、福岡県が決定する。

要望 下水道管未設置地区の調査結果と企業排水の取扱いなどを考慮した全体計画（案）を作成し、議会に提出することを求めた。

所 管 事 務 調 査

議案審議

今までの図書館の活用をどうするのか

問 現在の図書館は4月1日以降どのような扱いになるのか。

答 歴史民族資料館として開設したい。その規則改正を行っている。

問 公の施設として管理するのか。

答 今までのように利用するならば公の施設になるが、今後の利用方法による。



▲歴史民族資料館として活用（旧図書館）

行政不服審査法が改正

問 行政不服審査法が改正された理由は。

答 行政処分に対して迅速かつ公正な手続きが行われるように全部改正された。

問 改正に伴い手続きはどのようなになるのか。

答 審査請求があれば受付を行い、庁舎内の審理員（処分）に関与していない者を選任して審理をする。その審理員は現在選任中である。また、第三者機関に諮問を行い答申を受けるなど公正な手続きを行っている。

要望 今回の改正は、国民の権利救済を図るとともに行政の適正な運営を確保することになるので、今後審査請求する町民が増えることが予想される。そのため、手続き等は丁寧に説明するよう要望した。

基山町職員の給与改正

問 再任用職員の現状はどうなっているのか。

答 現在3人で平成28年度は2人の申込みがあり、5

人になる。勤務時間は職員の約半分で、職員定数では0・5人でカウントする。常勤の扱いにすれば新規職員採用に影響がある。

問 新図書館の開館時間が延長となるが、職員はどのように対応するのか。

答 早出・遅出の勤務形態で対応したい。

空き家等対策の方向性は

問 協議会委員謝礼14万5000円の減額更正の理由は。

答 6回の協議会開催を計画していたが、委員の選定に時間を要し2回の開催となったため。

問 これからの方向性は。

答 ①基山町における空き家対策の計画策定、②空き家バンク制度の確立、③条例と空き家対策特措法の整合性を図りたい。

要望 空き家対策の重要性を考え早急に対策をするよう要望した。

所管事務調査

新基山町立図書館について

新図書館への所管調査は、書類搬入前に館内施設の説明や、図書館協議会でサービスクラス計画について話を進める日程などの説明を受けた。また内覧会には、約400人の町民の来場があった。

委員会として、基山小学校から図書館への通路について、児童の安全を考えた横断歩道の検討を要望した。



▲町民待望のパークライブラリー（新図書館）

基山町のこれからを考える!!

議 案 審 議

議案審議

ちぎりの里指定管理者の 指定の期間を変更

問 なぜ、指定の期間の変更なのか。

答 施設が築30年となり大規模改修の検討が必要で、協議するために2年間延長する。

問 施設を将来的にはどう考えているのか。

答 今後の農業振興策と一体的に考え、集落営農組織の在り方や農産物直売所、農家レストランの検討と併せて協議したい。

けやき台駅通り線バリア フリー化工事

問 当初予算より削減となった理由は。

答 エレベーター設置場所前が、当初計画位置より手前でも短くなるなど事業費の減額となった。

問 計画ではエレベーターから通路への出入口が、階段終了地点と隣接して危険ではないか。

答 利用者の動態調査をJR九州と実施し、矢印などの誘導やミラーの設置を講じる。

家庭的保育事業等の条例 の一部改正

問 資格がない人も保育できることに、安全性の危惧を感じるが。

答 当分の間の特例的緩和。朝夕の児童が少数の時間帯の配置で無資格者のみの保育

はない。また、保育士と同等の知識及び経験がある方で、研修も受講してもらう。

問 町で対象となる事業所は。

答 小規模保育事業所A型のところ保育園が該当するが、町が認可するので、指導監査を行っていく。

「義務教育学校」を加えるとは

問 放課後児童健全育成事業の条例改正に「義務教育学校」を加えるとは。

答 放課後児童支援員の要件に義務教育学校の教諭となる資格を有する者を加えるため、条例の改正が必要となった。

問 「義務教育学校」とは何か。

答 小中一貫校の学校を総称して「義務教育学校」とする基山町にはないが、他市町には設置されている。

所管事務調査

大雪被害の調査

農業用ハウスの倒壊や林道の一時通行止め、葬祭公園の電柱が折れ、施設が4日間使用できなかったなどの被害も、初動対応が早急にされた。今回の大雪による災害対策を次に活かせるよう、町全体で検証することを要望した。



▲通行止めとなった林道 鎌浦線

基山保育園調査

築40年経過する園舎は、老朽化による点検・改修の必要箇所が見られる。園児の安全を第一とした早急な対策を求めた。

平成27年度 一般会計 補正予算 1億713万円増
予算総額65億9182万円

基山に大雪、アスパラ栽培農家の倒壊ハウスに再建の道開く！

補正で撤去・再建支援、ボランティア活動も大きな役割果たす

基山町は1月24日から26日にかけて数十年ぶりの大雪に見舞われた。幹線道路は積雪や凍結し、交通機関も大幅に乱れ、町内の保育園、幼稚園、小中学校とも休校となった。

この大雪により葬祭公園は一時使用不能となり周辺施設への利用をお願いした。また、農作物被害では基山の特産品でもあるアスパラ農家のビニールハウスが多数倒壊し使用不能となったが、国や県の動きも早く、再生不能になったパイプ、ビニールの撤去・再建に追加補正を決定した。

主な補正内容

- ・ふるさと応援寄附基金費 4000万円
ふるさと納税返礼品の充実により寄附金が大幅に増加。基山の特産品「きやまブランド」を強化
- ・農業振興費（大雪被害） 2634万円
大雪による倒壊ビニールハウスの撤去と再建補助金
- ・地方公共団体情報セキュリティ強化対策委託料 3427万円
マイナンバーカード導入に伴うセキュリティ強化
- ・大雪の災害復旧費 314万円
大雪に備えての融雪費及び町道を中心にした生活道路の除雪作業
- ・基山小学校管理費 3262万円
地震・劣化による危険箇所除去のための屋内運動場吊り天井撤去工事
- ・選挙管理委員会費 27万円
選挙年齢引き下げに伴うシステム改修業務委託料
- ・地方創生加速化交付金 4154万円
魅力ある空間形成プロジェクトで基山駅前及びモール商店街の整備。「集う場・働く場・めぐる場」を構築

国民健康保険 特別会計 補正予算

3951万円を減額

予算総額 24億1109万円

後期高齢者 特別会計 補正予算

355万円を追加

2億1085万円

下水道 事業会計 補正予算

収入を14万円減額

収入総額 5億5855万円

支出を14万円追加

支出総額 6億3976万円



▲大雪で倒壊したハウスの撤去

全議案および賛否表

全会一致で可決・承認・同意した議案

議案1	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	承認1	専決処分の承認を求める（税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）
議案2	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の特務手当に関する条例の一部改正	承認2	専決処分の承認を求める（国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）
議案3	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正	承認3	専決処分の承認を求める（平成27年度一般会計補正予算（第5号））
議案4	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び基山町職員の給与に関する条例の一部改正	議案16	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
議案7	下水道基金の設置、管理及び処分に関する条例等の一部改正	議案17	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
議案9	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	議案18	平成27年度下水道事業会計補正予算（第3号）
議案10	保育料徴収に関する条例の一部改正	議案22	平成28年度下水道事業会計予算
議案11	町立図書館設置条例の一部改正	同意1	副町長の選任につき同意を求める
議案12	農産物加工場指定管理者の指定の期間の変更	議案24	道路橋梁補修工事請負契約
議案13	町道の路線の認定	議案25	平成27年度一般会計補正予算（第7号）
議案14	基山町と佐賀県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議		

賛否が分かれた議案

○賛成 ●反対 ※棄権

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		松石健児	大久保由美子	末次明	柴野久明	久保山義明	牧菌綾子	木村照夫	河野保久	重松一徳	大山勝代	品川義則	松石信男
議案5	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※
議案6	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案8	手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案15	平成27年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※
議案19	平成28年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案20	平成28年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案21	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案23	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●

新しい副町長の選任を同意

さか い ひで よし
酒 井 英 良 氏（59歳）

小倉1293番地

略歴 昭和57年4月 基山町役場 奉職
平成25年4月 同 総務課長
平成27年4月 同 総務企画課長



一般質問

12人が町政を問う

(傍聴者 のべ87人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

問 定住人口増対策は 答 残存農地・空き家の利活用



栗野 久明 議員

ムを持つといった流れを作り出すことが必要である。

問 定住人口増対策について、考えている構想は。 **答** 市街化区域内の残存農地を活用し宅地開発。空き家を利活用し、宅地の確保や、改築の奨励を行うなど、人口増対策として地域資源化していきたい。

問 基山駅周辺部に若者家族が同居するようなマンション等の経営誘致を行うってはどうか。 **答** ハード及びソフトの両面から、子育て支援策を推進する必要がある。若者専用住宅の整備については、ハードの環境整備として考えていく。

問 中心市街地の活性化は、どのような取組を。 **答** モール商店街の利活用を検討。にぎわいに寄与するイベントを支援。

問 住生活アンケート調査の今後の展開は。 **答** 調査結果をふまえて、基山駅周辺の利活用を検討する中で、旧役場跡地を含め、どのように活用するのか早急に検討していく。

問 若者世代の定住化の現状と今後の構想は。 **答** 通学可能な進学先への誘導策や若者の地元就職支援策が重要である。また、賃貸住宅の充実を図り、そこに住んだ若者世代が基山町にマイホー

問 中心市街地に公衆トイレの設置を **問** 高齢化する社会の中で、市街地に公衆トイレ

の誘導策や若者の地元就職支援策が重要である。また、賃貸住宅の充実を図り、そこに住んだ若者世代が基山町にマイホー

の設置をできないか。 **答** 高齢者に限らず利用しやすい環境を作ることには大切。既に利用可能なまちなか公民館のトイレの利用案内を強化する。

豪雪の対応は

問 生活主要道路の早期復旧を行うにあたり、問題点はなかったか。 **答** 除雪機械の確保に時間を要したことが問題点。今回を教訓に、除雪を速やかに着手できる体制を検討する。

問 新たに見直すべき町の対応策は。 **答** 事前準備等のリスト化、積雪に対する注意喚起の情報提供など、事前対策の強化を図る。



▲大分市にはこんな公衆トイレが

問 松田町政の取り組み重点政策は

答 人口増に繋がる政策に取り組む



品川 義則 議員

新町長は配布したリーフレットで「基山町への七つの誓い」を町民に示された。今後の4年間の松田町長の重点施策を問う。

問 子どもを育てたくなくなる町とはどんなまちなのか。

答 町がハード面の住宅施策にそって、ソフト面の子育て支援策を展開することで、町内の子育て環境が整備され、若い家族が自発的に子どもを育てたくなるような町を考えている。

問 町を通過点から、交流拠点にして人口増にどのように繋げるのか。

答 町内に住んでもらう

問 農業や観光の新たな道を切り開くとは。

答 観光散策コースを設置し、観光資源等と連携した農産物や食品加工の情報提供、販路拡大、また観光農園や農家レストランの取組を検討する。

問 松田町政は目標達成のために町民に対し何を求めているのか。

答 町の情報をわかりやすく届けていく。そして、その情報に関心を示し、行政や他の町民へ情報を発信してもらい、コラボや連携、新しい取組が生まれることを期待している。



▲町民に示した「基山町への七つの誓い」

問 子育て・教育施策の推進を

答 施策20数項目、優先順位で



大山 勝代 議員

問 「子どもを育てたくなくなるまち基山」のイメージは。

答 ハード面の住宅政策、ソフト面の子育て支援策を展開する。現在20数項目の洗い出しをしている。財政を伴うので、優先順位を決めて進める。

問 子育て世代の入居を促す施策は。

答 「定住奨励金」「家賃補助」などを検討している。

問 「子育て支援センター」の設置はあるか。

答 現在、設置のための基礎調査をしている。

問 基山町の合計特殊出生率は全国のみならず佐

答 出産可能な女性の定住・転入だと考える。

問 少人数学級推進の考えは。

答 きめ細かな指導ができてほしいと考える。実施するとなると継続性が求められる、財政の問題がある。

問 学校給食費補助の考えは。

答 重要な施策と認識し、検討課題としている。

問 普通教室のエアコン設置は。

答 財政等を考慮し、時期の検討をしている。

問 医療費無料化を、高校卒業までに延長できないか。

答 周辺自治体の動向を注視しながら可能性を検討していく。



▲2月23日基山町新住民誕生

問 カーブミラー設置の目安は 答 道路の視界条件を考慮



牧園 綾子 議員

充実に関しての全体的な検証は。

問 カーブミラーを町道に設置する際の基準などはあるか。

答 設置指針となる道路反射鏡設置指針がある。町基準ではないが、設置・規格等が定められている。

問 カーブミラー設置を町民提案制度で受付けているが、制度の整備及び



▲こんな所にも設置されたカーブミラー

きたい。今年度の取組として、史跡等の調査や文化遺産ガイドボランティア、漫画形式の刊行物の作成などを行っている。

問 交流人口を増加させることを、まちづくりはどうつなげるのか。

答 カーブミラー設置等の交通安全施設については、地域からの情報提供もあり、安全な道路交通確保に努めている。

新町長にこれからの町政を問う

問 通勤等の利便さからベッドタウンとして人口が増加したが、活気ある町づくりにこの立地をどう活かすのか。

答 私の基本的な考えである「おかえりの町、基山」を目指した各種施策を行っている。

問 豊かな自然や基肆城跡を含む史跡などをどう活かすのか。

答 史跡の学術的な保存だけでなく、観光部局やまちづくり部局と連携し活用の施策を策定してい

問 エミュー基金を創設しては 答 ありがたい提案だ。検討したい



重松 一徳 議員

て、事業を進めたい。

問 地方創生事業で平成28年度予算を必要とする事業は。

答 二つの事業を考えている。一つは、基山パーキング内のふるさと名物市場の情報発信としての拡充。もう一つは、けやき台駅前でも多くの高齢者が活動するSGK事業を考えている。

問 基山ふるさと名物市場の経営状況は。

答 12業者の50品目を販売している。経営的には厳しい状況だが、自立を目指している。

問 SGK事業にはどのような支援策を考えているのか。

答 集落支援員を配置し

ミューと言われるぐらいに有名になった。今後は6次化産業として軌道に乗るように工夫してもらいたい。個人でヒナを購入するには限度がある。エミュー基金を創設して基金でヒナを購入し、産業振興協議会の会員に飼育してもらい、利益で基金にヒナ代を返却する方法を検討できないか。

答 大変ありがたい提案だ。直接的なヒナの買い増しはしていないので、是非検討してみたい。

その他の質問

企業の排水について
松田町長の決意について

問 基山町の名物となったエミューの飼育状況は。

答 現在会社や個人で佐賀県のチャレンジ交付金等を活用して29羽飼育されている。

問 ヒナが一羽4万円以上と聞く。採算ベースに乗せるためには何羽の飼育が必要か。

答 一概には言えないが、安定的に供給するためには100羽から300羽だと思う。

問 基山町といえば工



▲基山の名物「エミュー」

問 一人住まいの高齢者の今後は
答 積極的に社会参加を促す

河野 保久 議員



問 町の高齢化の現状は。

答 高齢化率26・7%、高齢者のみの世帯数は1522世帯、一人暮らしの高齢者世帯は463世帯（施設入居者等除く）である。

問 高齢化の現状に対する町の所感は。

答 一人暮らしや高齢者のみの世帯の見守り体制の充実等が重要な課題だと考える。

問 一人住まいの高齢者に対して行っている対策は。

答 食の自立支援・見守りネットワーク・緊急通報システム事業等。社会福祉協議会でも民生委員協力のもと、見守りネットワークを実施している。

問 民間との連携は。

答 郵便局・九電とは協定を結んでいる。新聞・牛乳店・宅配業者等とも協定の方向で検討する。

問 今後についてはどう考えるのか。

答 積極的に社会参加を促し、生きがいを持って生活できるよう支援する。

28年度の認知症対策

問 7区での声かけ訓練の検証の概要は。

答 認知症と徘徊者に対する対応についての理解はして頂けたと考える。

問 今後については。

答 他の地域へ訓練の輪を広げていくことが必要と考える。認知症サポートターの養成講座・ステッパアップ講座も実施し、認知症への理解を深めていく。

問 近隣市町との「対策協議会」の呼びかけは。

答 筑紫野市と訓練等を通じて連携を深めており、強化された段階で、次のステップの協議会を目指したい。

民俗芸能のこれからをどう考えるか

問 保存・継承するうえでの課題・問題点は。

答 若年層の減少や少子化により、奉納する人員の確保が課題である。

問 子どもだけでも、広い地域から参加ができるようにならないか。

答 クリアしなければならぬハードルはあるが、民俗芸能保存会の方で話し合いたい。



▲多くの子どもの参加を

問 子どもの貧困対策は
答 貧困の実情を把握する

松石 信男 議員



問 母子家庭の平均年間収入は181万円、子ども6人に1人が貧困、深刻な問題だが対策はあるか。

答 実情を把握し、他自治体の事例を研究していきたい。

問 ひとり親家庭の経済的負担軽減について

答 ひとり親家庭の場合、結婚の有無で保育料や町営住宅使用料に差が出ている。ひとり親家庭で寡婦（夫）控除がある場合、保育料は無料だが、非婚のシングルマザーは月額1万4800円である。寡婦控除の「みなし適用」で軽減を図るべきと考えるが。

答 住宅使用料は平成29

の提示を。
答 提示することで進めたい。

子ども医療費の窓口無料化を

年4月より適用する。保育料も合わせて適用の検討を行う。

問 就学援助世帯の学童保育利用料の軽減を。

答 利用料軽減について検討する。

問 就学援助の拡充について

問 入学援助金の1学期未支給の繰上げを。

答 他市町村では、4月支給に向けての準備をされているところもあるので検討をしている。

問 クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給を。

答 他自治体の実施状況を参酌し、実施に向けた検討を行っている。

問 就学援助の対象となる世帯の「収入の目安

問 町長は「松田一也の7つの誓い」として、「子どもの医療費助成の拡大の検討」を掲げている。保護者から小学生からの医療費の現物支給（窓口無料）についての要望が強いがどうか。

答 基山町として以前から佐賀県に求めている。TPP大筋合意の撤回を求める

問 農業関係者から「耕作放棄地の増加に繋がる」との不安の声がある。基山町の農産物への影響（額）はどうか。

答 影響は出てくる。額は算出できない。



▲元気に活動する園児達

問 人口増加の対策は

答 「定住奨励金」や「家賃補助」などを検討



松石 健児 議員

問 人口増加の対策は。

答 基山町の魅力を知ってもらうために、町内で開催されるスポーツ、文化のイベントや観光資源を利用し、多くの方に本町を訪れてもらうようにPRを積極的に行いたい。また、子育て世代には新築住宅を取得した場合の「定住奨励金」や、賃貸住宅を選択する場合の「家賃補助」などが検討できないかと思っている。

問 新婚夫婦の新居の予定地を決定する動機は、通勤の良さや環境・暮らしやすさが非常に高い。利便性の高い基山町として対策が必要では。

答 結婚予定者にもPRしていかななくてはならないと思うし、結婚支援策

も考えないといけないと思う。

問 他自治体でも子育て世代に対し補助や助成など、定住促進に向けて情報発信を行っている。また、空き家対策における税制優遇措置も始まる。具体的な情報発信が急務ではないか。

答 情報発信は早急に行っていく。また、支援する材料はある程度用意できると思うが、住宅供給面が弱いので並行して行っていきたい。空き家除去後の更地を確保して宅地促進に繋げていく。

問 園部団地の建替えは検討段階に入っている。立地の良い割田団地の移転も併せて検討は可能か。

答 園部団地は入居者に一定の説明を行いながら進める必要がある。割田団地については、現段階

では判断できる時期ではない。同じように価値のある別の土地を有効に活用していきたい。

国際交流

問 国際交流に関しての取組は考えているか。

答 昨年実施した麵フェスタでは東明館学園に本店してもらった際に、立命館アジア太平洋大学の留学生にも参加してもらった。今後もイベント開催を利用して外国の方々と交流の機会を増やしていきたい。また、大興善寺等、海外からの渡航者へのおもてなし、基山町の小学校と近隣の外国人学校との交流事業、民間の国際交流についても活性化の支援策を検討していきたい。



▲建替え検討中の園部団地

問 人口増対策は何から取り組むのか

答 宅地開発と空き家の利活用



末次 明 議員

問 町長の目標とする将来の人口は。

答 総合計画で示している平成37年度の1万8000人を目標す。

問 人口増対策で何を優先するのか。

答 「基山町に住んで子育てをしたい」と思ってもらうため、子育て支援策を推進する。町内外の各種イベントに積極的に出席し、基山町の各種施策を町外の方々へPRしていきたい。

問 基山、若基小学校の児童数格差の是正策を検討しているか。また、各小学校の児童数は。

答 児童数の差は十分認識している。若基小の運

域の農地が多いことから生産基盤の脆弱性、施設や機械の更新に関わる資本整備の問題がある。

問 観光とリンクした農業とは何か。

答 基山を訪れる多数の観光客に基山の農産物や加工品を十分に紹介できているとは言い難い。町内に散策コースを設置しテーマ性と連携した農産物や食品加工品の情報提供や販路拡大の取組を検討していく。観光農園、農家レストラン等も検討していく。

問 町は商工業の活性化にどう関与していくか。

答 商店街に来てもらう仕掛け・需要の取込みが必要。交流人口の増加で商店街の振興を図る。工業は企業誘致を図るため、土地の確保や誘致企業への奨励制度の業種の見直しを検討する。

問 町の農業問題は何か。

答 後継者の減少による担い手不足、中山間地



▲基山の歴史を引き継ぐ子ども達

問 給食センターの安全管理は

答 日常点検・安全点検を確実に行う

大久保由美子 議員



問 給食センターの口頃の安全点検は。

答 「作業マニュアル」「危機管理マニュアル」があり、給食センター長が毎日チェックして安全確認をしている。

問 緊急対応時の連携は。

答 救急体制、緊急連絡体制を整え、的確かつ迅速に対応している。

問 町外で発生した給食異物混入事故を、どう思つか。

答 重大な問題であり、指定管理者による給食事故が多く、指定管理者制度の検討を考えさせられる機会となった。

県学力テストの結果は

問 12月に実施されたテストの結果は。

答 全学年「おおむね達成基準」をクリアしている。県全体の中では、小学4年、中学1年が県平均を下回り、小5・6年、中学2年は上回っている。

問 テスト結果を今後どう活用するのか。

答 結果から見えた課題を重点的に授業に取り入れ、指導している。

ふるさと納税の取組は

問 上峰町の昨年のふるさと納税が全国9位、寄附額19億4572万円をどう思われるか。

答 返礼品63品目中、49品目が肉関係の品で上峰町が伸びた要因だと思う。町も7月に向けて品目の拡充や見直しをする。

問 リピーター獲得は。

答 今後、考えていく。また、ふるさと応援通販部会や、きやま宅配事業部会で返礼品の通販を行い、事業者の販路拡大に繋げていく。

橋梁補修工事の目的は

問 県道に架かる亀の甲橋・上原橋・小浦橋の補修工事の目的は。

答 建設から45年経過した橋もあり、安全で円滑な交通の確保から、浸水によるコンクリート劣化や剥落が見られ、剥落による落下物で第3者への被害防止のため補修をした。鉄筋等構造物の補修と、表面部の排水改善や防水処理等で長期にわたる機能保持をした。



▲橋梁補修工事中の亀の甲橋

問 町内大雪の被害について

答 葬祭公園が使用できなかった

木村 照夫 議員



問 大雪による葬祭公園の被害状況を示せ。

答 倒木で電線の切断及び電柱の破損、積雪による道路の通行不可能の事情により、1月25日から29日にかけて葬祭公園が使用できなかった。

問 利用者状況は。

答 3件の届出があったが、葬祭公園が使用できない状態であった。近隣の火葬場を案内した。



▲大雪で折れた電柱

問 葬祭公園に森林基幹道「九千部山横断線」から入れないのか。

答 基山町林道管理条例により、道路を接続することは可能であるが多額の工事費を伴うので現在は考えてない。

ふるさと納税の進捗状況は

問 過去3年間の実績は。

答 平成25年度は6件、149万1000円。平成26年度は3件の110万2000円。平成27年度は2441件6000万3000円（12月末現在）である。

問 平成26年に町外に寄附された税収減額はどのようになっているのか。

答 町外への寄附に伴う個人町民税の減収額は53万3000円である。

問 返礼品で人気のある上位5点は何か。

答 1番人気は「焼豚ラーメンとカップ麺詰め合わせ」、第2位が「菓みつ」、第3位「人気カップ麺とお勧めラーメンセット」、第4位「さがほのか」、第5位「いちご大福」である。

問 寄附金の活用方法は。

答 全国の皆様に、ふるさと納税でその事業を実現させたい、応援したいと思っ頂けるようなことを早急に考える。

町の農業と観光の展開はどうするのか

問 町内農業の振興策はなにか。

答 観光と連携した農業振興に加え、中山間地域の所得確保には施設園芸の推進が必要と考える。さらには、農産物直売所、農産物加工所及び観光農園や農家レストラン等については、六次産業化や自前の販路の確立のためにも、同時に検討していく。

問 地方創生にかける意気込みは
答 不退転の決意で取り組む



久保山義明 議員

問 今年度、実施してきた地方創生先行型の今後の方向性は。

答 町内事業者の販路・顧客の拡大、シニア層の地域活性化事業として、今後も継続して取り組む。

問 審議を行った積算根拠及び重要業績指標（KPI）と大きく乖離しているが、どのように説明するのか。

答 2カ月程度の積算だった。ただ、積算根拠は最初と最後で違ってきて当然である。ある程度、執行権の範囲内で任せて欲しい。

問 KPI指標の検証は、いつ、どのように行うのか。

答 目標や施策等の効果について外部委員による推進会議において5月までに行う。

新図書館は従来型からまちづくり拠点型へ

問 新図書館の不安と課題点があれば。

答 内覧会において想定をはるかに超える町民の方に来て頂いた。その期待の高さにどれだけ対応できるかが不安な点である。

問 開館時間が案では9時から18時となっているが、10時から19時の要望にはどう対処するのか。

答 基山町立図書館の特徴のひとつが9時から10時の来場者が多いこと。ここは大事にしていきたい。

問 閉館日は相変わら

ず、毎週月曜日となっている。相互貸借している鳥栖、久留米、小郡も月曜休館。相互貸借の相乗効果を考える上でも違う曜日は考えられないか。

答 図書館連携の会議等がある場合に休館日は統一していることが望ましいと考える。

問 地域資料のアーカイブがもっとも大事な役割になると思うがどのように考えるか。

答 特に、古文書や古地図、古写真など劣化しやすい資料をデジタルデータとして保存し、後世へ伝えることや、デジタル情報を検索利用できるように検討する。



▲新図書館オープニングセレモニー

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	結果
陳情	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	国・政府等関係機関に対し、脳しんとう及び軽度外傷性脳損傷への対応を要請する意見書を提出することを陳情する。	全議員に配布
	平成28年1月23日～25日大雪被害に関する要請書	平成28年1月23日～25日に掛けた大雪により被害を受けた農業用施設に対して、国、県への働きかけは基より、基山町における特例措置等の施策を講じていただくよう要望する。	全議員に配布

議長交際費執行状況表 (平成27年度1月～3月)

支出種別	支出金額 (円)	支出の相手方及び行事名等	
会費	6,000	1/9	日韓親善少年柔道大会歓迎レセプション
接遇	6,000	1/28～29	議会運営委員会視察研修土産
接遇	6,000	2/9～10	広報広聴常任委員会視察研修土産
会費	24,000		平成27年度基山経済クラブ会費
御祝	5,000	3/26	JAさが基山支所女性部総会
合計件数 (件)	合計額 (円)	累計件数 (件)	累計額 (円)
5	47,000	11	89,294

議会運営委員会

視察報告

●視察日程

平成28年1月28日(木)～29日(金)

○視察先及び視察目的

- (1) 佐賀県伊万里市
議会改革の取組、議会定数見直し
の経緯
- (2) 長崎県諫早市
議会改革の取組、議会基本条例制
定の経緯

伊万里市議会議長の議会改革にかけ
る熱い思いは、市民の付託に応えたい
ということが原点であることに改めて
気付かされた。以前は県下でも先進的
な議会活動が行われていた伊万里市議
会が、議会基本条例に取り組むのが遅
かったというだけで、市民から議員定
数削減の要求がでてしまうような事態
に至ったのではないかと。議会改革も議
員一人一人の高いモチベーションが不
可欠だ。

諫早市議会の活動はまさに先進的で
あり、議会改革度調査ランキングで県
内市1位も当然であろう。タブレット
端末導入については基山町議会も導入
を検討している。諫早市議会のように
政務活動費を予算化していないので、
しっかりとした意義と根拠、経費上の

メリットを示すことが不可欠である。
導入に向けて協議を進めるべきだと今
回の視察
で強く感
じた。



▲伊万里市議会視察の様子

広報広聴常任委員会

視察報告

●視察日程

平成28年2月9日(火)～10日(水)

○視察先及び視察目的

- (1) 長崎県長与町
議会広報編集、議会フェイスブッ
クについて
- (2) 長崎県時津町
議会広報編集について

長与町は、昭和63年から議会広報誌
に取り組み、現在156号の発行。議
会広報コンクルの奨励賞受賞歴があ
る。特筆すべきは、議会終了後翌月の
第3水曜日に発刊するスピード感。ま
た、全委員が最新の記者ハンドブック
を参考に取り組む。

また、議会フェイスブックは議長決
済のもと事務局職員が運用ガイドライ
ン及び利用規約に基づき投稿を行って
いる。

時津町も長与町と同じく、全頁フル
カラーで対応されており、また発刊日
も翌月第3金曜日とスピード感があ
る。特に一般質問に関して1人1ペー
ジとその大半を占めている。指摘を受
けたように基山町議会だよりの1人半
ページは窮屈だと感じることは否めな
い。議会全体の報告と議員個人の報告
である一般質問、どちらを優先すべ
きは悩ましい。

今回の視察は内容的に非常に充実し
たものとなったが、今後、議会として
の報告内容をインパクトのあるものと
しながらも、フルカラーとすべきか、
一般質問のページ割を1ページとすべ
きかの判断が難しい。

また、今回の視察で、討論内容の記
載や意見書・請願書の記載など、改善
点及び検討箇所が改めて浮き彫りと
なった。



▲時津町議会視察の様子

平成28年 第2回基山町議会定例会会期日程(案)

月	日	曜	議事内容	備	考
6	8	水	本会議	会期決定・提案理由説明等	
	9	木	本会議	議案審議、委員会付託	
	10	金	委員会	各常任委員会	
	11	土	本会議	一般質問	
	12	日	本会議	一般質問	
	13	月	委員会	各常任委員会 (調整)	
	14	火	本会議	委員長報告、討論・採決	

愛媛県・山口県の2町が基山町議会を視察

議会運営委員会

大雪の影響がまだ残る1月27日、愛媛県松前町より議会運営委員会委員7人、2月1日には山口県平生町より広報広聴特別委員会委員6人が、議会活性化を主テーマに視察に来られた。

愛媛県 松前町

どんなところ？

松山市に隣接し面積20.32km²、人口約3万人のコンパクトな町。豊かな水資源を有し、農業・工業・商業のバランスのとれた町として発展している。

平成27年8月に行われた議会議員選挙は、町政発足60年で初めての無投票であったことから、議会の活性化が急務ということでの今回の視察であった。

研修では、議会基本条例の制定に対する取組をどのようにしていくか、議会報告会等住民の意見収集をどうするかの2点について意見交換がなされ、基山町にとっても意義深いものとなった。特に議会基本条例の取組については、制定ありきではなくまず現状の議会運営の改革が大切であるという点が、松前・基山両町の共通の認識であった。今後基山町の議会改革のなかで論議する時の参考にしていきたい。

松前町には平成25年の行政視察で当町の厚生産業常任委員会が研修を行ったこともあり、今後も様々なことで意見交換ができればと感じた。

山口県 平生町

どんなところ？

山口県の東南部、室津半島の西に位置する瀬戸内海性気候の温暖な町。面積は34.58km²、人口は約1万2500人。

研修では当町の休日議会・議会報告会の概要について、品川副議長及び久保山広報広聴常任委員長より説明の後、意見交換を行った。

議会報告会の開催手順、特にワークショップ形式での意見交換を行ったとの説明には、真剣にメモをとる委員の方が多数であった。又、休日議会にも関心が深いようで、開催に至った経緯・開催しての住民の反響、傍聴者数について多くの質問があった。

議会だよりに関する意見交換のなかで「議案ごとに賛否を掲載しているが、議案はすべて一つずつ採決するのか」といった質問があった。平生町では議案は一括採決を行っているという話を聞き、議会運営も市町によっていろいろあるのだなと実感した。

松前・平生の両町が共通して関心を示したのは、当町の一般質問についてであった。特に、全員が質問・順番がローテーション・時間割りどおりの運営・質問内容等の全戸回覧に強い関心をもたれていた。

両町との交流を通じて、基山町議会の良い面を垣間見ることができた視察対応だった。

編集後記

新町長へ期待

3月議会で初めての答弁を直接聞くことがありました。議員からも今後の町政を問う質問をぶつけ、すぐにすべきことが何かを改めて認識することもありました。

町民の方の日々の暮らしの中で、町の予算がどう使われ、今どんな施策が打ち出されているのか、正しく、そしてわかりやすくを第一に考え編集に努めました。(牧園綾子)



▲庁舎、体育館、町民会館を情報発信基地に

広報広聴常任委員会

委員長	久保山 義明	委員	牧園 綾子
副委員長	松石 健児	委員	末次 明
委員	河野 保久	委員	大久保由美子